

部局名	子ども部	所属名	母子保健課	所属長名	佐藤 洋子	電 話	486-7250
-----	------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3187		事務事業名称		予防接種事業					短縮コード		経常	3187	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計		款	04	衛生費		項	01	保健衛生費		目	02	予防費
区 分	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務		根拠法令等		予防接種法に基づいて実施。平成 1 8 年度から八千代市定期外予防接種実施要領に基づき実施。								
	☐ その他														
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）															
・昭和23年予防接種法における一類疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎）並びに昭和26年結核予防法の規定に基づいてＢＣＧ予防接種を実施してきた。結核は、平成19年3月23日感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部改正により、 2 類感染症と定義され、ＢＣＧ予防接種については予防接種法による予防接種となった。 ・平成18年度から八千代市定期外予防接種（ＢＣＧは医学的理由により6か月未満に接種できなかった1歳未満の乳児、DPT3種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風） 1 期は接種間隔8週間を超えた者、日本脳炎 1 期は接種間隔 4 週間を超えた者、日本脳炎 2 期は 1 期を0回または1回接種の者）を実施。 ・麻しんの流行により、 臨時的麻しん予防接種（2歳以上7歳6か月未満で未接種の幼児とMR 2 期を未接種）を19年度のみ実施する。															
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
・近年の伝染病の発生状況、医学の進歩、生活環境の改善、予防接種に関する国民の意識の変化など予防接種をとりまく環境が大きく変化し、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちとなっているが、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないこととされている。平成16年度より千葉県内定期予防接種相互乗り入れ制度が開始され近隣市のかかりつけ医での接種が可能となった。 ・平成17年から日本脳炎は日本脳炎ワクチンを接種した後の重症のADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係があることから積極的受診勧奨の差し控えとなっている。日本脳炎の新ワクチン発売が予定されている。 ・平成18年4月より麻しん風しん混合の新たなワクチンの開発により、予防接種法施行令等の改正があり、麻しん風しんは 2 回接種となる。 ・平成19年は、中学生、大学生の麻しんの流行が問題になり、麻しん排除のため、時限的措置により平成20年度から24年度まで麻しん風しん混合予防接種によるMR3期（中学1年生）とMR4期（高校3年生相当）が定期予防接種として導入された。 ・今後は新型インフルエンザの流行による、対応が求められる。						大項目（節）	01	保健・医療							
						中 項 目	01	保健							
						小項目（施策）	02	疾病対策の推進							
						細 項 目	02	感染症対策							
					実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	◎定期予防接種は、市内に在住する生後３か月～７歳６か月未満の乳幼児及び９歳～１８歳未満の児童・生徒。 ◎八千代市定期外予防接種（ＢＣＧは医学的理由により6か月未満に接種できなかった1歳未満の乳児，DPT3種混合１期は接種間隔8週間を超えた者，日本脳炎１期は接種間隔４週間を超えた者，日本脳炎２期は１期を0回及び1回接種の者）。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： １ 対象年齢に合わせ，２か月児，小学校に就学前1年間の幼児，11歳の学童，中学1年生，高校3年生相当に個別通知による接種勧奨を実施。 ２ 10か月児赤ちゃん広場で麻しん風しん混合予防接種1期と3種混合1期追加の予診票を手渡し，麻しん風しん混合予防接種等の勧奨をする。 ３ 接種場所は，乳幼児・児童は個別委託医療機関で実施。・ポリオのみ保健センターで集団接種で実施。 ４ 麻しん風しん混合予防接種率向上のため，未接種者への接種勧奨として1期の1歳児は，1歳10か月児の歯科健診で，就学前1年間に接種する。2期は就学時健診で健康教育を実施。併せて，2期及び3期の中学1年生・4期の高校3年生相当の未接種者には12月に接種勧奨の個別通知実施。 ※平成21年度に計画していること： １ 接種率向上のため，対象者の月齢や年齢に合わせ個別通知する。 ２ ポリオ予防接種は保健センターで年34回、集団予防接種を実施する。 ３ 八千代市定期外予防接種（BCG・DPT3種混合・日本脳炎）の実施。 ４ 麻しん風しん混合予防接種の3期（中学1年生），4期（高校3年生相当）を実施。接種率向上のため関係機関（教育委員会，市内高校など）と調整する。						
意図 （何を狙っているのか）	予防接種を受けることにより，感染症にかからない状態にすることや，集団発生を予防する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市内に在住する生後3か月～7歳6か月未満の乳幼児の数	人	16,667	17,500	15,832	16,000
	指標 2	市内に在住する11歳の児童数	人	1,875	1,900	1,902	1,908
	指標 3						
活動指標	指標 1	市内に在住する生後6か月未満の乳児でBCGの接種者数	人	1,781	1,848	1,790	1,887
	指標 2	市内に在住する11歳の児童でDT2種混合の接種者数	人	1,164	1,565	1,417	1,564
	指標 3						
成果指標	指標 1	市内に在住する生後6か月未満の乳児でBCGの実施率	%	99.7	99.8	100.8	99.8
	指標 2	市内に在住する11歳の児童でDT2種混合の実施率	%	62	80	74.5	82
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	3187	事務事業名称	予防接種事業				所属名	母子保健課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		システム運用により、データ管理をおこない接種率の向上に努めたい。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止(事業完了含む)				
				☐ 休止				
			☒ 現状のまま継続					
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			システム運用により、データ管理をおこない未接種者への接種勧奨を行うことにより、接種者が増加するため接種率が向上し、その結果コストも増加する。また、感染症の流行を防ぐことができるため、成果は向上する。日本脳炎予防接種の新ワクチンが発売されることにより、接種率が向上し、コストも増大することが予測される。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
《市民からの要望》 ・関係機関から未接種者への接種勧奨に努め、乳幼児・児童の接種率の向上を図ることを求められている。 ・小・中学生の保護者から予防接種歴がわかるよう求められている。 ・議会より、子どものインフルエンザ予防接種の助成をするよう要望あり、求められている。 ・麻しんの流行により、中・高校生、大学生の保護者から、公費負担で麻しんの予防接種ができるよう要望あり。 ・日本脳炎予防接種の積極的勧奨の差し控えが継続していることより、定期外予防接種をするよう要望あり。 ・細菌性髄膜炎予防としてヒブワクチンの助成をするよう求められている。									

所属長コメント	感染症を予防するためには、予防接種率を向上させ免疫レベルを一定以上に保たねばならない。市民の予防接種に関する知識、意識の向上を図るため、当事者、医療機関などの関係者に働きかけていくことが重要である。引き続き、麻しん排除のため、麻しん風しん混合予防接種を3期（中学1年生）、4期（高校3年生相当）に実施し、未接種者対応についても、電算システムを活用し、接種率向上に努めたい。平成21年度は、日本脳炎、新ワクチンが承認されて、追加されることから、対応していきたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									